

こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



①もちつき、②味付け、③④いただきまーす！（こぶし作業所）

CONTENTS

① 特集 「年頭にあたって」	2P
第30回きょうされん全国大会	3P
② トピックス	4P~5P
③ ふれんどパーク	6P
④ こぶしサポーターズ	7P
⑤ アドレス・編集後記	8P

No.318

2008
1

年頭にあたって

特集



●こぶしの会 (常務理事 高橋温美)

初風を 懐に抱き はばたける (渡辺良江)

明けまして、おめでとうございます。

今年最初の風をふところに抱き、今飛び立つ一羽の鳥のように、こぶしの会も、多くの関係者・応援者の力を束ねて力強く前進する年であることを願っています。

昨年は、障害者自立支援法が本格実施され、応益負担を理由とした利用者の利用控え、公的資金の収入減や事務量の増加等による賃金・労働条件の後退を生じさせてしまいました。一方で、困難な状況を乗り越えようと、利用者、家族、職員、後援会が力を振り絞った1年だと思えます。そして、昨年10.30「今こそ変えよう障害者自立支援法全国大フォーラム」を起点に、自立支援法の見直しの動きが見えはじめ、年末には次年度予算に、特別対策事業の継続という形で具体化し、新年を迎えたところです。本当にご苦労様でした。

さて、今年も自立支援法の行方が大変気になるところですが、法人として大きな節目を迎えようとしている年でもあります。次のような課題が中心となります。

- ①中・長期計画への提言を受け、3年目になります。これを、目の前の現実に立ちつつも、全体として積極的に受け止めながら、計画策定の準備や、可能な事業をひとつずつ具体化する。とくに、自立支援法施行に伴い、法人の役割が極めて重要な時期になっていく現在、その人的基盤作りが当面の最重要課題となっています。
- ②数年でこぶしの会の職員の世代交代という、内的な転換点を控えているという時期でもあり、組織全体を見通した人事計画が求められています。
- ③障がい者福祉施策の転換点に当たり、改めて、こぶしの会の事業・支援理念を明確にし、法人関係者が一体となって障がいあるひとが、真の自立へ立ち向かうための支援の内容をつくりだしていくことです。

こぶしの会のめざすところは、障がい者を真ん中に据え、関係者が話し合いの中から英知をつくり、その豊かな地域生活を、地域とともに創りだしていくことです。環境の変化は大変厳しいものの、その姿勢にはいささかも変りはありません。また、「みんなでつくる作業所」というスローガンにもあるように、一人ひとりの関係者が柱一本持ち寄って作った法人であり、ねがいに応える生き活きた事業が期待される法人でもあります。

こうした可能性を現実のものにするには、関係者一人ひとりが責任をもちつつ、互いに共同する力を、法人の目標を実現する中で高めていくことが大切です。

今年も、内外の様々な困難が私たちに立ち向かってくるとは思いますが、一喜一憂せず、皆さんに信頼される法人をめざしてがんばりたいと思います。今年もよろしく願いいたします。

●第30回きょうされん全国大会

12月21・22日に「きょうされん第30回全国大会inとうきょう」が行われました。当日は早朝に集まり、こぶしの会の仲間・職員、ほっとみるくの方あわせて44名でバスで向かいました。全国大会への緊張・興奮で会話が弾む人や、会場まで体力温存のために眠るひとなどいろいろですが、大会へどんどん近づいていきました。

東京ビックサイトは大きな会場で、約4000名の方が参加しました。

みんなが楽しみにしていたもののひとつに山下泰裕さんの記念講演があります。山下さんは1984年ロスアンゼルスオリンピック柔道無差別級金メダリストであり、日本を代表する柔道家です。また、障がい児の父親でもあり、パラリンピックやスペシャルオリンピックをはじめ、障がいのある人たちのスポーツへの支援活動にも取り組んでいます。山下さんは多くの人との出会い・経験からの「気づくこと・改めることに遅すぎることはない」とのお話が印象的でした。

みんなの主張コンクールの最終選考会は坂本さん（関東ライフサポートセンター・真岡）をはじめとするファイナリストの方々のすばらしい主張をみんなでできました。ハンカチを持ってきく人も多く、心にひびくものでした。

そして、アニメソングメドレーではエヴァンゲリオンの歌やジブリ作品の歌などがライブで行われ、踊りだす人もいるくらい大盛り上がりになりました。

「変えてはならないものを変えなくてはならないもの」をスローガンとした全国大会でしたが、今回のように障がいのある人もサポーターもひとつになっていくということが変えてはならないものの1つだと思いました。

<プログラム>

21日 東京ビックサイト

- ・オープニングセレモニー「ウエルカムクリスマスコンサート」
- ・開会全体会（開会あいさつ・感謝状贈呈・基調報告）
- ・結成30周年記念企画「変えてはならないものを変えなくてはならないもの～30年のあゆみとこれから～」ビデオ等上映
- ・記念講演「挑戦！」山下泰裕さん（オリンピック柔道金メダリスト）
- ・30周年記念映画「ふるさとをください」製作発表

- ・聴いてよ！私たちの思い みんなの主張コンクール最終選考会
- ・スペシャル企画「みんなであたおう アニメソングメドレー」高橋洋子さんら
- ・閉会全体会フィナーレ

22日 上智大学等

- ・分科会 入門講座
- ・ディズニーリゾートツアー、東京最新スポットツアー
- ・閉会全体会

●利用者部会立ち上げについて（けやき作業所 直井信也）

今年の全国大会で、ついに利用者部会の立ち上げをすることができました。これまで、2年間にわたり利用者部会準備会として、全国の利用者の意見を、アンケートなどの調査で集めて、検討してきました。その結果、みんなが利用者部会で行いたいと思っていることが、交流（全国の利用者同士で情報の交換や話し合いをする）・運動（障害者自立支援法などの政策に対して、自分たちの意見を伝えること）・学習（自分たちが知っておかなければならない情報や法律について学ぶ機会を作ること）の3本柱であることを準備会員で確認し、今回の立ち上げイベントでの発表となりました。発表の前に、利用者部会準備会のメンバーでいろいろと打ち合わせをしました。その中で、私の役目は、立ち上げのときの掛け声（「利用者部会が立ち上がるぞ！」というきめゼリフ）をすることとなったのですが、本番の一発勝負の部分でしたので、いつもステージでいろいろとやってきた私でも多少の緊張はありました。しかし、本番が近づくといつものように緊張することなくせりふをいうことができました。せりふが決まりステージから音楽が流れてくると利用者部会の立ち上がりを実感することができて、無事に成功してよかったと思いました。その後の反省会でも、心配されていた横断幕（利用者部会準備会の文字が利用者部会に変わるところ）も問題なくできていたし、大成功だったのではないかという意見がほとんどでした。私もそう感じましたし、最初がうまくいったのですから、これからの利用者部会もうまくやっていけるのではないかと思います。これから全国の代表として3本柱をもとにがんばっていきたいです。



利用者部会たちあがるぞ～

ト
ピ
ツ
ク
ス

第2 けやき作業所
けやき作業所での
実習を始めて半年…

シール貼りができるようになりました。挨拶を目標に頑張っています。これからパン作りにもチャレンジしてみたいです。シール貼りや袋詰め作業が楽しいです。一番うれしい事は、お客さんがよるこんで買ってくれる時です。これからおいしいパンをたくさん売っていきたいです。そしてけやき作業所に就職したいです。

県東ライフサポートセンター真岡
テーブルマナー学習会

県東ライフサポートセンター真岡では、「マナーを身につけよう」をテーマに平成一九年度の学習会を行ってきました。その中で、今回は「テーブルマナー学習会」という事で、グランドホテル清風にて料理をいただきながら、いすの座り方から始まり、ナイフやフォークの使い方、ナプキンの使い方などの基本的なマナーを学ぶことができました。いつもとは違いかしこまった雰囲気緊張しながらも、じよじよに慣れ、最後のデザートまでお

いしく食事をいただくことができました。お料理は大好評でした。
〈メンバーの感想〉

・今まで詳しく知らなかったテーブルマナーで、ナプキンの使い方などを学習で来てよかったです。メインの牛フィレステーキがとてもおいしかったです。

・初めてテーブルマナーを学習しました。参加してよかったです。思っていたより簡単でよく分かる説明でした。

・食事を楽しむために大切なことだと思います。勉強になりました。

・テーブルマナーは難しいものだと思いますが、意外と簡単でした。

・緊張しました。おいしかったです。
・初めてコース料理を食べました。

けやき作業所
恒例のけやき作業所忘年会開催

去る一二月二八日、けやき作業所、第2 けやき作業所合同の忘年会をけやき作業所にて行いました。いつもお世話になっている後援会会長の福田さんの挨拶からはじまり、弁当班のオードブルとパン班のケーキを食べながら、みんなで一年間を

振り返りました。

食後には、竹林さんの演奏会を聞き、最後はみんなでけやき作業所バンドをバックに大合唱、今年最後の大盛り上がりとなりました。

いぶし作業所
初詣

一月七日(月)、「あけましておめでとございます。今年もよろしく願います」と大きな声のあいさつで、今年もスタートしました。年末年始にあったできごとを互いに報告しあったりしてとても楽しい朝となりました。

朝礼の後、みんなで安住神社に初詣に行きました。神社に着くまでの車内でも、休みの間の話が尽きることはありませんでした。

神社に着くと、早速お参りです。お賽銭を投げ、みんな真剣な表情で手を合わせて祈っています。いったい何を願ってきたのでしょうか。仕事のこと、自分のこと、家族のこと、みんなそれぞれにたくさんお願いをしていたようです。



「今年1年を振り返ると〜」



「おりゃー!」



「(笑)」

一月二日(土)セルブ・みらいお正月恒例行事「もちつき」を行いました。残念ながら、冷たい雨となつてしまいましたが、屋根の下にうすを運び出し、外でもちつきを行いました。最初は「さむい、さむい」と震えていた仲間たちも自然とうすを取り囲み、私もついてみたい!わたしも!わたし!と手が上がり、行列ができるほど。みんなでタイミングを取りながら、つく仲間も自然と力が入り真剣な表情でついていきます。盛り上がり

セルブ・みらい 餅つきをやりました~!

お参りが終わると、甘酒。みんな本当はこっちが目的ではなかったかと思ってしまうほど、うれしそうに、おいしそうに飲んでいました。冷えた体も温まり、みんな大満足です。今年も一年間がんばっていきこう、そう誓い合った仕事始めでした。

法人教育研修委員会 平成一九年度新任職員研修会

も冷めぬうちに、つきたてのおもちには、きなこ、あんこ、大根おろしをからめ、おいしくいただきました。おもちが苦手な方も暖かいおいしーいすいとんが用意され、身も心も大満足の様子でした。

去る一月七日、こぶし作業所にて「平成一九年度新任職員研修会」が開催されました。

今回の研修には、昨年度の新任職員研修以降に入職された二五名の職員が参加し、各プログラムに臨みました。

まず、小グループに別れてのグループ討論が行われました。討論は、それぞれが日頃仕事をする中で感じているやりがいや楽しいこと、また、辛いことや悩んでいることなどを、自由に出し合う形で行われました。その中で、支援上の悩みについては、グループ内で解決策を出し合うなど、悩みを共有して意見を出し合える、活発な討論となりました(時間が短かったことが悔やまれます)。

次に、こぶしの会の評議員である葎田美知子氏による講演が行われました。今回は「しごとをするってどんなこと?」をテーマに、利用者を支援していく上での基本姿勢を中心に話していただきました。日頃慌しく仕事をしている中で、つい見

落としてしまうような、それでいて大事なことを気づかせてくれる講演でした。参加した職員のみならずにとつて心に残るものになりました。

今回、このように新任職員を対象にした研修を行いました。法人内教育研修委員会では、今後研修の体系化を図り、中堅・ベテラン職員を対象にしたものや、職種別のものなど、対象別の研修を定着させていく予定です。これに外部研修を加えて、全職員が定期的に学んでいける仕組みを作っていくことを計画しています。

私はずたが好き

第2けやき作業所

菅 又 綾 子

私はずたが大好きです。どんな曲が好きですかと聞かれたら、夏川りみさんのうたが大好きです。夏川りみさんのうたがいいこえだし。しゃみせんひけるから大好きです。他には、小林幸子の「おもいで酒」やあみんの「待つわ」が好きです。お休みの日や買い物をするときに歌っています。私もうたがうまくうたいたいです。

みんなの思いが **ふれんど** いっぱい! パーク

～第30回きょうされん
全国大会 in とうきょう～

アニメの歌を歌いました。山下さんのお話を聞きました。働く仲間たちとお話をしました。
またいきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。もっとお話を聞きたいのでぜひ聞か
せてください。
こぶし作業所 亀田 智直

22日の上智大学での第3分科会で和歌山県の紀の川・いわで生活支援センターの羽柿好美
さんが2年前の4月から働いている特別養護老人ホームでいくら介護やその他の仕事をして
職場での人間関係で理解してくれない人がいる話を聞いて自分も20代後半の時に働いて
所ていじめを受けたことがあったので、同じ経験をしている人がいるんだなあ、その話を聞
いたときに思った。しかし、それを手をあげて発言できなかったのは、ちょっと失敗だった。
セルフ・みらい 竹村 達夫

自分の心の中にのこった1つの言葉、石井めぐみさん(実行委員長)のあいさつでした。
特に色々話をしたことがたくさんありますが、障がい者である人が「1人1人思ったこと、
又やりたい事」などをみんなでの場に4000人の力が輪となって行えば大きな力とな
りますと言われ、感動しました。

第2けやき作業所 祭 哲也さん

コンサートでアニメの歌を聞けたことでした。本当に楽しめました。

けやき作業所 篠原 恭章さん

会場の人のに多さにビックリ!? ▶



▶ ボランティアグループ望む会から
プレゼントされた車椅子。
ゆったり乗れて乗りこえ最高!!



▲ ダンス☆ダンス☆ダンス

◀ これからどんなことがはじまるのが
ドキドキ、ワクワク!!



～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

新年をむかえて

新年にあたり皆様のご健康と障がい者福祉の向上発展をお祈りいたします。昨年は自立支援法の運用について国も見直しに向けた動きを見せており一筋の望みを託すことができましたが、本年は3年後の見直しが確かなものとなるよう関係者が一丸となって更なる活動を展開し、私達の不安を払拭し明るさを見い出せる年となって欲しいと願うものです。

こぶし作業所保護者会会長 石川 泉

「障害者自立支援法」の施行後数々の問題が起きています。それに対し国は特別対策で急場を乗りこえようとしていますが、根本的解決にはなっていません。今年は真の障がい者のみなさんの「総合福祉サービス法」の樹立を目指して頑張ります。ご協力下さい。

こぶし作業所後援会会長・参議院議員 谷 博之

1月26日にけやき作業所で成人式を行なってもらい、職員や仲間の方たちからお祝いをしてもらいありがとうございました。成人になり、これからいろいろなことにチャレンジをして自分で1つでも多くのことができるようになって、自分でできないことは「お願いします」と言えるようになって欲しいと思います。

けやき作業所保護者会会長 出口 良子

私の好きな日本語で「ありがとう」という言葉があります。

人間は一人では生きて行けない。多くの人に支えられて生きているのです。その生活の中から生まれ出た、感謝の言葉が「ありがとう」なのです。

父母に感謝しつつ毎日楽しく生きているの

です。

この美しい言葉を大切にしつつ、常に感謝の気持ちを持って生きていこうではありませんか。

けやき作業所後援会会長 福田 貞夫

明けましておめでとうございます。

セルフ・みらい保護者会会長になり、あまり役にたっていない会長ですが保護者の皆さんや職員の皆さんに助けていただきながら、3年の月日が経とうとしています。今、応益負担見直しのお願いの署名運動が全国で行われています。保護者の皆さんにも、ご協力をお願いしたいと思います。これからもよろしくお願いします。

セルフ・みらい利用者と保護者の会会長 金谷 ハルエ

あけましておめでとうございます。1年の計は元旦にあり、毎年大晦日に日記を巡りながら1年を振り返り、計画目標事項の達成&挫折に一喜一憂し、改めて新年の目標計画を立案するのが我が家の恒例となっています。私の昨年の10大ニュースベスト3を取り上げるならば①3月「セルフ・みらい5周年記念ふれあいコンサート」②9月「障害者付き添いボランティア3泊4日北海道旅行」③10月「プロ太鼓奏者(大塚 宝さん)男体山奉納太鼓登頂に同行」です。ひろがれコンサート開催にあたっては、後援会また職員の皆さまには改めて感謝申し上げます。また、趣味として毎月2回程度、登山しているのですが男体山山頂で快晴の青空の下、太鼓プロ奏者大塚 宝さんによる太鼓連打は圧巻でした。今年も元気で明るく!をモットーに活動していきたいと思います。地域の皆様方のご支援を宜しくお願い致します。

セルフ・みらい後援会会長 岸 勇次

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 ㊟321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
 TEL 028 (613) 5703
- こぶし作業所生活支援センター ㊟321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 028 (667) 5531
- こぶしのときわ荘 ㊟321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0414
- く る み ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 生活介護事業 けやき作業所 ㊟321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・生活介護事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 第2 けやき作業所 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1704
 ・就労移行支援事業
 TEL 028 (687) 0311
- 県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1704
 ・地域活動支援センター
 TEL 028 (687) 0311
- 県東ライフサポートセンター「真岡」 ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 ・地域活動支援センター
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
- すずらんの家 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
 ・知的障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2876
- 第2 けやきホーム ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0776
- コ ー ポ 峰 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
- セ ル プ ・ み ら い ㊟321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・知的障害者通所授産施設
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- ぼ て っ と ㊟321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
- 芳賀地区障害児者相談支援センター ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
- 県東・央圏域障害者プレ就業・生活支援センター ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町2-15-10 県東健康福祉センター内
 ・障害者の就業相談・支援
 TEL 090-4529-4871

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間8:30~17:00)

編集後記

あけましておめでとうございます。みなさん、風邪などひいていませんか？私は毎年この寒い時期になると必ず1度は体調を崩してしまいます。うがい、手洗い、ビタミンCなどいろいろとやっているのですがどうもダメです。「今年こそは元気であるぞ！」と誓い今年の冬はかなり意識してマスクをつけて生活しています。どうやらマスクをつけるのは私の場合、なかなか効果があるようです。今年は体調を崩すことなく過ごすことができている。みなさんにもオススメです。ただ私の場合は2月頃から花粉症のためマスクが必要になります。ということは1年のうちの半分くらいはマスクをつけていることになるのですが・・・。たとえ「マスクのひと」と呼ばれても、体調には気をつけていきたいなあと思います。 鈴木 美輝

編集委員

枝 雅紀 菊地 豊 鈴木 美輝 田澤 幸子 廣本 佳奈子 松本 裕生

発行所 郵便番号 二五〇〇七三

東京都世田谷区砧六―二六―二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円